

小型仏壇の製品開発支援

【相手先企業】

有限会社東光堂

【目的】

オンリーワン技術である銅・真鍮を主体とした創作技術を「強み」としたメンテナンスフリーの仏壇を開発することを目標とした。

平成12年消防庁「住宅火災の実態」によると、発生源が「ローソク・灯明」の住宅火災は555件で、うち死者総数34名、65歳以上が27名となり、仏壇における火災の増加が問題になっている。

【内容】

1. 市場調査

競合商品や類似商品のポジショニング分析により、事業コンセプトの開発余地があり、独自アンケート調査により「サイズは卓上タイプ」「形態は家具調や現代型（伝統型以外）」が望まれていることが分かった。文献調査によれば、日本人の宗教観は「宗教を信じていない、意識して生活していない、宗教はなくても構わない」が半数を占め、仏壇においても宗派や宗教観の影響が少ないことがわかった。

2. ユーザー設定

市場調査より想定ユーザー（開発ターゲット）を設定した。

- 1) 宗教観：普段、宗教を意識しないで生活している
- 2) 住居：マンションなど狭いスペースに仏壇を祀りたい
- 3) スタイル：洋風の暮らして洋室やリビングに仏壇を祀りたい

【成果】

製品化した「子仏壇」のようにコンパクトでありながら電子線香、LED灯明、ICお経といった機能を兼ね備えた本格的なものは皆無と言って良い（サイズ：巾150mm×奥行150mm×高さ220mm、重量1.3kg）。同製品は展示会で好評を博し、大手量販店や業界商社、通販から打診があり、量産化中である。

技術志向型の開発は消費者や販路がおざなりになりがちであるが、このようにオンリーワン技術「強み」を活用したデザイン開発をすることができた。



基礎となった事業：デザイン開発支援事業（平成13年度）
 担当部署：デザイン開発部 佐藤茂